# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和8年1月20日

**協議会名：** 群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会

**評価対象事業名：** 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | | ⑤目標・効果達成状況 | | ⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (株)上信観光バス<br>前橋駅～高崎駅 | 前橋駅～京目～高崎駅の運行<br>車輌減価償却費等国庫補助適用 | ・高崎駅バス案内所、前橋駅バス案内所に時刻表を配布し利用促進を促した。<br>・沿線高校に時刻表を配布を実施。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：132,394人<br>輸送人員（実績）：154,615人<br>目標を達成できた。 | 各バス案内所を活用し沿線住民に時刻表の配布を継続して行う。<br>また、ダイヤ改正によって、輸送人員が増加したので乗降調査を行い、ダイヤ改正の可否を検討したいと考える。 |
| 関越交通（株）<br>高崎駅～渋川駅 | 高崎駅～ｲｵﾝﾓｰﾙ高崎前・群馬温泉～渋川駅の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | ・高崎市内への新聞折込および吉岡町・渋川市の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布。（令和7年3月実施）<br>・IC乗車券、IC定期券、スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。<br>・運転手不足対応のため2024年10月19日～土日祝ダイヤ2.0回減回。<br>・一件明細によるODデータを活用し、イオン高崎前経路変更を実施（令和7年10月）<br>その他　GTFS-RTデータの公開開始（令和7年4月）。高崎経済大学学生にインターンシップ（外部委託）により路線沿線情報をInstagramにて情報発信を行った。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：218,970人<br>輸送人員（実績）：225,089人<br>目標を達成した。 | ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。<br>・金額式IC定期券、スマホ定期券については、両者の長所をアピールしたチラシを作成し配布、またHPやSNS等を活用した若年層向けのPRも行っていく。<br>・令和7年10月1日からイオンモール高崎の運行回数を増回したことから、沿線の利用者へさらなる周知を行い利用者増を図りたい。 |
| 関越交通（株）<br>高崎駅～群馬温泉 | 高崎駅～ｲｵﾝﾓｰﾙ高崎前～群馬温泉の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | ・高崎市内への新聞折込および吉岡町・渋川市の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布。（令和7年3月実施）<br>・IC乗車券、IC定期券、スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。<br>・運転手不足対応のため2024年10月19日～土日祝ダイヤ2.0回減回。<br>・一件明細によるODデータを活用し、イオン高崎前経路変更を実施（令和7年10月）<br>その他　GTFS-RTデータの公開開始（令和7年4月）。高崎経済大学学生にインターンシップ（外部委託）により路線沿線情報をInstagramにて情報発信を行った。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：133,283人<br>輸送人員（実績）：134,246人<br>目標を達成した。 | ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。<br>・金額式IC定期券、スマホ定期券については、両者の長所をアピールしたチラシを作成し配布、またHPやSNS等を活用した若年層向けのPRも行っていく。<br>・令和7年10月1日からイオンモール高崎の運行回数を増回したことから、沿線の利用者へさらなる周知を行い利用者増を図りたい。 |
| 関越交通（株）<br>けやきｳｵｰｸ前橋～富士見温泉 | けやきｳｵｰｸ前橋～前橋駅・中央前橋駅～富士見温泉の運行 | ・前橋市北代田町・上細井町・下細井町・富士見町時沢・富士見町小暮・富士見町皆沢地区に時刻表を新聞折り込み、沿線世帯へ配布。（令和7年3月実施）<br>・IC乗車券、IC定期券、スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。<br>・赤城山山頂へのアクセス向上の為2025年4月から7時台の赤城山行バスを増回に伴う時刻改正を実施<br>その他　GTFS-RTデータの公開開始（令和7年4月）。高崎経済大学学生にインターンシップ（外部委託）により路線沿線情報をInstagramにて情報発信を行った。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：107,925人<br>輸送人員（実績）：108,206人<br>目標を達成した。 | ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。<br>・金額式IC定期券、スマホ定期券については、両者の長所をアピールしたチラシを作成し配布、またHPやSNS等を活用した若年層向けのPRも行っていく。 |
| 関越交通（株）<br>沼田駅～群大病院 | 沼田駅～関越自動車道～群大病院の運行 | ・沼田市・みなかみ町・片品村の協力で広報に時刻表(猿ヶ京線・鎌田線共用)を折り込み、沿線世帯へ配布。（令和7年3月実施）<br>・時刻表のチラシを沼田市内2か所の教習所及び群大病院内売店に設置した。（令和7年6月実施） | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | C | 輸送人員（目標）：11,490人<br>輸送人員（実績）：9,955人<br>運行回数減少に伴い輸送人員については目標達成に至らなかった。 | ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。<br>・自家用車とのアドバンテージを模索し、チラシ、HP、SNS等を活用してアピールして利用者を促進していく。<br>・輸送量が15人を下回っており補助対象外となることから、沼田市と路線維持について継続協議を行う。 |
| 関越交通（株）<br>沼田市保健福祉ｾﾝﾀｰ前～猿ヶ京 | 沼田保健福祉ｾﾝﾀｰ前～沼田駅・後閑駅・上毛高原駅・たくみの里～猿ヶ京の運行 | ・沼田市・みなかみ町の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布。（令和7年3月実施）<br>・関係市町村（沼田市・みなかみ町）と連携し、IC高齢者割引のPR実施<br>・令和6年12月1日運転手不足への対応のため5.0減回<br>その他　高崎経済大学学生にインターンシップ（外部委託）により路線沿線情報をInstagramにて情報発信を行った。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | C | 輸送人員（目標）：87,203人<br>輸送人員（実績）：69,632人<br>運行回数減少に伴い輸送人員については目標達成に至らなかった。 | ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。<br>・今後もIC乗車券、スマホ定期券などをチラシ、HP、SNS等を利用して推進していく。<br>・路線維持に向けて、国の交通空白解消等り・デザイン全面展開プロジェクト事業を活用し利用状況や情報発信、みなかみ町との連携を強化していく。<br>・みなかみ町にて今後地域公共交通計画が策定されるため、当該路線の位置付けと路線維持に向けた連携を図る。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | | ⑤目標・効果達成状況 | | ⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 関越交通（株）<br>沼田駅～尾瀬戸倉 | 沼田駅～老神温泉・鎌田～尾瀬戸倉の運行 | ・沼田市・片品村の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布（令和7年3月実施）<br>・IC乗車券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。スマホ定期券はチラシおよび車内ポスターにてPRを行った。<br>・栃坂～栓の滝間速達性を高めるためバイパスルートへ路線付け替え（2025年10月実施）<br>その他　高崎経済大学学生にインターンシップ（外部委託）により路線沿線情報をInstagramにて情報発信を行った。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：58,707人<br>輸送人員（実績）：73,872人<br>目標を達成した。 | ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。<br>・今後もIC乗車券、スマホ定期券などをチラシ、HP、SNS等を利用して推進していく<br>・客貨混載事業に関しては引き続き継続する。<br>・路線維持に向けて、国の交通空白解消等り・デザイン全面展開プロジェクト事業を活用し利用状況や情報発信、片品村との連携を強化していく。 |
| 関越交通（株）<br>沼田駅～鎌田 | 沼田駅～鎌田の運行 | ・沼田市・片品村の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布（令和7年3月実施）<br>・IC乗車券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。スマホ定期券はチラシおよび車内ポスターにてPRを行った。<br>・栃坂～栓の滝間速達性を高めるためバイパスルートへ路線付け替え（2025年10月実施）<br>その他　高崎経済大学学生にインターンシップ（外部委託）により路線沿線情報をInstagramにて情報発信を行った。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：30,153人<br>輸送人員（実績）：30,280人<br>目標を達成した。 | ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。<br>・今後もIC乗車券、スマホ定期券などをチラシ、HP、SNS等を利用して推進していく<br>・客貨混載事業に関しては引き続き継続する。<br>・路線維持に向けて、国の交通空白解消等り・デザイン全面展開プロジェクト事業を活用し利用状況や情報発信、片品村との連携を強化していく。 |
| （株）群馬バス<br>高崎～室田 | 高崎駅～里見～室田営業所の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。<br>交通系ICカードが普及し好評を得ている。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | B | 輸送人員（目標）：75,489人<br>輸送人員（実績）：69,628人<br>改善基準告示改正に伴い終発時刻を繰り上げていたが、輸送人員が減少しているのでR7.12.6に終発便の繰り下げダイヤ改正を行い、適切な運行を行う。 | 他で路線休止を行ったので、喫緊にR07.12.6に平日1.0R増と終発便の繰り下げダイヤ改正を行い。利用者の増を目指す。引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時に時刻表を配布する。 |
| （株）群馬バス<br>高崎～榛名湖 | 高崎駅～本郷～榛名湖の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎市住民に時刻表の配布をおこなううとともに、各自治体の公共施設や高崎経済大学等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、交通系ICカードが普及し、好評を得ている。 | A | 冬季は積雪による路面凍結のため運行できない区間があったが、事業は適切に実施された。 | B | 輸送人員（目標）：107,642人<br>輸送人員（実績）：103,254人<br>運送収入は若干増となったが、輸送人員については目標を達成することができなかった。 | 他で路線休止を行ったので、喫緊にR7.12.6に申請番号7号線終発便の繰り下げダイヤ改正を行い。利用者の増を目指す。引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時に時刻表を配布する。 |
| （株）群馬バス<br>高崎～榛東村役場 | 高崎駅～上郊～榛東村役場の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎市・榛東村住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、沿線施設である相馬原自衛隊の隊員の利用も好調である。また、交通系ICカード導入が普及し好評を得ている。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：46,665人<br>輸送人員（実績）：52,161人<br>上記のとおり、当系統は輸送人員も収支率ともに向上しているので適切な運行を行う。 | 引続き、沿線住民は勿論のこと、相馬原自衛隊の若い隊員向けに継続的に時刻表を配布する。同時にIC機器を導入しているので、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。 |
| （株）群馬バス<br>高崎～伊香保 | 高崎駅～水沢～伊香保案内所の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎市住民に時刻表の配布をおこない利用促進を図った。また、交通系ICカードが普及し好評を得ている。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：77,740人<br>輸送人員（実績）：90,361人<br>上記のとおり、当系統は輸送人員も収支率ともに向上しているので適切な運行を行う。 | 引続き、高崎駅から伊香保間を乗換無しで行けることをアピールしていきたい。同時にICカード導入しているので、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | | ⑤目標・効果達成状況 | | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (株)群馬バス<br>高崎～南陽台 | 高崎駅～農大二高・吉井物産センター～南陽台の運行 | 引続き、南陽台から旧吉井町へ運行する自家用有償(よしいバス)と乗り継ぎ割引を引続き実施し、利便性の確保を行っている。また。2つの高齢化している住宅団地の住民の買い物の足として重要な役割を現在も果たしている。また、交通系ICカードが普及し好評を得ている。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員(目標):68,945人<br>輸送人員(実績):121,060人<br>上記のとおり、当系統は輸送人員も収支率ともに向上しているので適切な運行を行う。 | 当系統は南陽台・城山団地という70～80年代頃に開発された丘陵地帯上にある住宅団地と高崎市街地を結んでいる。高齢者の買い物の足としての役割が強い。引続き高崎市と協力してアピールしていきたい。またIC機器を導入しているので、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。 |
| (株)群馬バス<br>高崎～権田 | 高崎駅～里見・室田～権田の運行 | 高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。<br>ICカード導入が普及し好評を得ている。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員(目標):60,013人<br>輸送人員(実績):65,675人<br>上記のとおり、当系統は学生輸送が微増し、輸送人員も収支率ともに向上しているので適切な運行を行う。 | 他で路線休止を行ったので、喫緊にR7.12.6に申請番号7号線終発便の繰り下げダイヤ改正を行い。利用者の増を目指す。引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時に時刻表を配布する。 |
| (株)群馬バス<br>高崎～室田 | 高崎駅～本郷～室田営業所の運行 | 高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。<br>ICカード導入が完了し好評を得ている。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員(目標):93,687人<br>輸送人員(実績):116,545人<br>上記のとおり、当系統は学生輸送が好調であり、収支率、輸送人員が若干増加している。<br>R7.12.6にダイヤ改正を行い、より適切な運行を行う。 | 他で路線休止を行ったので、喫緊にR7.12.6に繰り下げダイヤ改正を行い。利用者の増を目指す。引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時に時刻表を配布する。 |
| 群馬中央バス株式会社<br>前橋駅～高崎駅 | 前橋駅～芝塚～高崎駅の運行 | ①オープンデータの自社整備を行い、精度を上げ有効活用しやすいデータ作成を目指す。<br>②バスロケーションシステムを継続し、リアルタイムで運行状況の配信を行う。<br>③小学生及び高齢者を対象としたバス乗り方教室を実施し、利用促進を図る。<br>④時刻表等の路線情報を沿線施設に配布する。<br>【効果目標】<br>1%の収支改善を目標に年間1,185人の利用者増を目指す。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | B | 輸送人員(目標):126,460人<br>1%の収支改善目標として年間1,252人増を目標<br>輸送人員(実績):118,558人<br>輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できなかった。 | ①オープンデータ関連の講習会等参加して、それらを参考に自社の整備内容の改善を行なった。<br>②バスロケシステムを一新し、精度を上げたサービスの提供を行った。<br>③バス乗り方教室を年間5回実施し、乗合バスの周知に繋げた。<br>④令和7年6月に路線沿線施設にバス時刻表を配布し、利用促進を図った。 |
| 群馬中央バス株式会社<br>高崎駅～県立女子大学 | 高崎駅～上滝・玉村～県立女子大学の運行 | ①オープンデータの自社整備を行い、精度を上げ有効活用しやすいデータ作成を目指す。<br>②バスロケーションシステムを継続し、リアルタイムで運行状況の配信を行う。<br>③小学生及び高齢者を対象としたバス乗り方教室を実施し、利用促進を図る。<br>④時刻表等の学校等と協力し、利用者にバス情報を発信していく。<br>【効果目標】<br>1%の収支改善を目標に年間413人の利用者増を目指す。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員(目標):44,910人<br>1%の収支改善目標として年間444人増を目標<br>輸送人員(実績):45,070人<br>輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できた。 | ①オープンデータ関連の講習会等参加して、それらを参考に自社の整備内容の改善を行なった。<br>②バスロケシステムを一新し、精度を上げたサービスの提供を行った。<br>③バス乗り方教室を年間5回実施し、乗合バスの周知に繋げた。<br>④令和7年2月に路線沿線の学校と利用促進に向てた協議を行い、ダイヤ改正に反映させた。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | | ⑤目標・効果達成状況 | | ⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 永井運輸（株）<br>前橋公園～玉村町役場 | 前橋公園～前橋駅～玉村町役場の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | 列車接続に対応していたダイヤであったため、ダイヤ調整は実施しなかった。<br>下川渕公民館及びペイシアみなみモールへ配布時刻表を用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。<br>引き続き「前橋工科大21回数券」を作成し発売を行った。<br>GTFSデータの作成及び提供を継続。<br>バスロケーションシステムの継続実施。<br>「バスの乗り方教室」を小学校や商業施設などで実施した。バスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組んだ。<br>旅客への情報提供として前橋工科大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置中。<br>Xでの運行情報送信を継続実施。<br>地域連携ICカード「nolbé」導入により、旅客からの運賃収受が確実になり、乗務員の運賃取扱いが省力化できた。また系統別利用実態の集計が迅速にでき、デジタイゼーションが確立できた。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：81,057人<br>輸送人員（実績）：81,501人<br>輸送人員は上記の通りであり目標を達成した。 | 駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じてダイヤ改正を行う。<br>沿線の高校に時刻表を配布して市内高校生割引との連携による集客を強化する。<br>引き続き「前橋工科大21回数券」を作成して大学生の利用が減る時期の利用促進を行う。<br>デジタルサイネージやバスロケ、Xによる新鮮な情報の発信に努める。<br>依頼に応じて「バス教室」などで子供だけでなく大人をや高齢者についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 |
| 永井運輸（株）<br>玉村町役場～新町駅 | 玉村町役場～県立女子大学～新町駅の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | 玉村町役場へ配布時刻表を用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。<br>GTFSデータの作成及び提供を継続。<br>バスロケーションシステムの継続実施。<br>旅客への情報提供として県立女子大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置中。<br>群馬県バス協会主催の「バスの乗り方教室」を玉村南小学校、玉村中央小学校で実施した。バスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組んだ。<br>Xでの運行情報送信を継続実施。<br>地域連携ICカード「nolbé」導入により、旅客からの運賃収受が確実になり、乗務員の運賃取扱いが省力化できた。また系統別利用実態の集計が迅速にでき、デジタイゼーションが確立できた。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | B | 輸送人員（目標）：53,252人<br>輸送人員（実績）：51,462人<br>学生利用が想定より増えず、前年同様の人員とはなったが目標には届かなかった。 | 駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じてダイヤ改正を行う。<br>沿線の公民館や商業施設、大学などに時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた努力を行う。<br>デジタルサイネージやバスロケ、Xによる新鮮な情報の発信に努める。<br>県立女子大の生徒に対して、利便性の向上に努める。<br>依頼に応じて「バス教室」などで子供だけでなく大人をや高齢者についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 |
| 日本中央バス（株）<br>前橋駅～富士見公民館 | 前橋駅～田島十字路～富士見公民館の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | 路線開設当初より、富士見温泉・富士見公民館への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。<br>バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：75,174人<br>輸送人員（実績）：85,211人<br>新型コロナウイルスの影響緩和により、主に外国人実習生等の利用が予想以上に増加し、前年度に引き続き目標を達成した。 | ICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。<br>また、富士見地区のデマンドバスとの組み合わせを見据えた運行についての最適化につい9て引き続き検討を行いたい。<br>引き続き、利用者の増加に向けたに向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市と共に検討を行い、実行可能なものから実行する。 |
| 日本中央バス（株）<br>前橋駅～八幡橋 | 前橋駅～前橋西高校～八幡橋の運行<br>車両減価償却費等国庫補助適用 | 路線開設当初よりしんとう温泉・榛東村役場への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。<br>バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員（目標）：94,331人<br>輸送人員（実績）：97,523人<br>新型コロナウイルスの影響緩和により、主に外国人実習生等の利用が予想以上に増加し、前年度に引き続き目標を達成した。 | 前橋都心部において、独占禁止法上の例外措置による共同経営を行い利便性の向上を図ったので、利用者への周知を図ってゆく。また、ICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。<br>引き続き、利用者の増加に向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市・榛東村と検討を行い、実行可能なものから実行する。 |
| 朝日自動車(株)<br>本庄駅南口～神泉総合支所 | 〔起点〕<br>本庄駅南口<br>〔主な経由地〕<br>小島南・沖電気前<br>〔終点〕<br>神泉総合支所 | ①令和6年9月～10月と令和7年3月～4月の共通学生フリーパス販売時期に合わせ、沿線学校や自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 輸送人員目標186,218人に対して実績は206,913人となり目標達成となった。<br>達成理由として、沿線施設への利用が増加したことが理由と考えられる。 | ・引き続き共通学生フリーパスの販売促進を図る。<br>・路線延伸を継続し、接続する町営バスとのシナジー効果を狙う。<br>・スマホ定期券の販売促進を図る。 |
| 地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局） | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。<br>・沿線住民への時刻表の配布、デジタルサイネージを活用したバス情報の周知、教育機関や商業施設と連携したバスの乗り方教室の開催など、地域に根ざしたバス利用促進の取組について評価する。<br>また、バスロケーションシステムのオープンデータ化等により運行状況を可視化するなど、利用者の利便性向上につなげる取組についても高く評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。<br>・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。 | | | | | | |
| 第三者評価委員会における各委員からの意見 | 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。<br>〇公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。<br>〇利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。 | | | | | | |